

2022年6月 一人一人の意識を変えて気候変動を軽減する活動に参加しよう

ロシアのウクライナ侵攻が始まってから、色々な物がどんどん値上がっています。

改めて日本は本当に資源の少ない国だと思い知らされています。

そんな時 NHK の番組で段ボールが環境に優しい素材で、リサイクル率は 95% 以上である事を知りました。確かに段ボールは資源ごみとして回収サイクルも確立されています。一方板紙の古紙再生利用率は 65% と段ボールに比べまだリサイクル率は低いようです。足らない 35% の原料として北米から 54.4% 南米から 27.9% を賄っているようです。もう少しリサイクル率を上げれば、アマゾンの木を切って紙にする事は止められるのかもしれません。

日常の生活を振り返ると、段ボールは資源ごみに出していくても、紙は、ほとんどを焼却ゴミとして捨てている事に気付きました。

そこで今まで焼却ごみとして捨てていたお菓子などの包装紙や箱も、資源ごみとしてリサイクル回収する事にしてみたところ、この3ヶ月間、私の周りで焼却する紙ごみはほとんど無くす事が出来ました。

SDGsが叫ばれる中、取り組む内容は世界規模でも、一人一人の意識改革で焼却ごみから資源ごみに変えられると言う事です。

自分の為ではなく、みんなの為に、でも最終的には自分の為になる事です。

日常ゴルフ場でバンカーを均しましょう、自分の作ったディボットを直しましょう

グリーン上のボールマークを直しましょうと、お願いしている事と似ている活動だと思いませんか？

誰の為と言う事ではなく、みんなで快適な環境を作ろうとしている基本の話です。

微力ではありますが、我々は気候変動を軽減する活動に参加して参ります。

